

福祉科「介護福祉基礎」	単位数	2単位
	学科・学年	介護福祉科（1年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	介護の意義と役割を理解し、介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援などの考え方を学習し、介護専門職に求められる介護を適切に行う能力と態度を身につける。
使用教科書 副教材	介護福祉基礎（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座 介護の基本Ⅰ（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<p>関心・意欲・態度 介護や介護従事者の役割について関心を持ち、意欲的に学習している。</p> <p>思考・判断・表現 介護に関する諸問題について考えるとともに、ICFの視点で介護を必要とする人の生活を理解し、適切な介護について考えている。</p> <p>技能 尊厳を支える介護や自立に向けた介護について自分の考えを発表している。</p> <p>知識・理解 介護の意義と役割を理解するとともに、介護従事者の資質について理解している。</p>
評価方法	評価の観点に従い、定期テスト・記録・感想文・授業態度等により総合的に評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	<p>ノートを準備し、必要事項をノートに書き込む。</p> <p>レポート、プリント等はしっかり取り組み、提出期限は守る。</p> <p>グループワークに意欲的に参加する。</p>
-------------------	--

(4) 学習計画
「1学期」

項目	学習のねらい
第1章 自立に向けた介護 第1節 介護とは	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の歴史的な経過を理解する。 ・介護の概念を理解する。 ・介護福祉士が行うべき「生活支援」としての介護について理解する。
第2節 「生活支援」 としての介護とは	<ul style="list-style-type: none"> ・生活能力や意欲を見出すことの大切さなど、自立に向けた支援を行うための視点について学ぶ。 ・介護（介護福祉士）の専門性について考え、専門職に求められるものが何かについて学ぶ。
第2章 介護を必要とする人の 理解 第1節 私たちの生活 の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活は「時間」「空間」「生活のリズム」が相互に関連し、構造をなしていることを理解する。 ・私たちの生活を構成する上で重要な要素について理解する。 ・私たちにとって生活とはどのような特性をもっているかを理解する。

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
第2節 高齢者や障害をもった人たちの暮らしと介護	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人の生活の様子や思いを理解する。 ・介護職として、利用者の生活を理解する上で大切な視点について学ぶ。
第3節 「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「その人らしさ」を理解する上で、その人が生きてきた時代や生活様式、地域性などを考慮することを学ぶ。 ・「その人らしさ」を尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する。 ・利用者の「生活ニーズ」をいかにとらえるかについて理解する。
第4節 生活障害の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・個人と環境との相互作用のなかで生じる「生活障害」について理解する。 ・認知症高齢者の支援の在り方について、「生活障害」の視点から考える。
第5節 生活環境の重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・物理的・人的環境などのさまざまな面から利用者の生活環境をとらえる。 ・利用者にとって望ましい生活環境を整えることの大切さとその視点を学ぶ。

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
第3章 介護のはたらきと基本的視点	
第1節 さまざまな生活支援とその意義	<ul style="list-style-type: none"> ・生活とは何かを考え、その支援の在り方を学ぶ。 ・介護職が行う支援で求められている効果を考える。 ・適切な自立支援を行うときの視点や留意点について学ぶ。
第2節 尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・「尊厳を支える」という介護において重要な考え方について理解する。 ・「QOL」「ノーマライゼーション」の考え方について理解する。
第3節 ICFの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFにおける生活機能と各因子との相互作用について理解する。 ・ICFやストレングスの視点を介護の実践に応用する視点をもつ。
第4節 介護とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・介護とリハビリテーションの基本的な考え方について学ぶ。 ・介護を実践する上で、リハビリテーションの考え方をどのように活かすかについて学ぶ。

福祉科「介護福祉基礎」	単位数	3単位
	学科・学年	教養福祉科（2年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	介護福祉士の役割と倫理を理解し、介護サービスの質と安定性を確保するケアマネジメントの概略を学習し、介護専門職に求められる介護を適切に行う能力と態度を身につける。
使用教科書・副教材	介護福祉基礎（実教出版） 「介護の基本Ⅰ」「介護の基本Ⅱ」（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 介護および介護福祉士の役割と倫理について関心を持ち、意欲的に学習している。 思考・判断 介護サービスとその提供の場を取り巻く歴史的展開や現在の姿、利用する人々と介護のあり方を考え、適切な介護について考えている。 技能・表現 尊厳ある暮らしのために、安全の確保とリスクマネジメントについて自分の考えを発表している。 知識・理解 介護および介護福祉士の役割と倫理について理解するとともに、介護福祉士の資質について理解している。
評価方法	評価の観点に従い、定期テスト・記録・感想文・授業態度等により総合的に評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	ノートを準備し、必要事項をノートに書き込む。 レポート、プリント等はしっかり取り組み、提出期限は守る。 グループワークに意欲的に参加する。
---------------	---

(4) 学習計画
「1学期」

項目	学習のねらい
介護福祉士とは	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の家族形態の変化と介護問題を理解する。 ・介護福祉士の誕生経緯とケアモデルの転換と求められる知る介護福祉士像とは何かを理解する。 ・介護福祉士および介護福祉士法の概要を理解する。 ・介護福祉士が守るべき義務規定の意味を理解する。 ・介護福祉士養成課程の仕組みを理解する。 ・介護における専門職能団体の活動について理解する。 ・日本介護福祉士会の倫理綱領および活動を理解する。
介護サービスと介護福祉士の働く場	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士として、介護サービスにあたる時守らなければならない事を理解する。 ・介護の対象者のための、社会的サービスについて理解する。 ・居宅系サービスの種類と意義や目的を知るとともに、介護福祉士の役割を理解する。 ・規模の大きい入所系サービスと小規模な居宅に近い入所系サービスの特性とそこに暮らす人の生活、介護のあり方を理解する。

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
<p>介護実践における連携</p> <p>介護における安全の確保とリスクマネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の意義と目的を知る。 ・利用者を支援するさまざまな専門職について知る。 ・介護職と多職種の連携のあり方を知り、チームアプローチの心構えを理解する。 ・地域連携の意義と目的を理解する。 ・地域にはどのような機関や組織があるのか理解する。 ・地域連携を進めるために、介護職のとるべき行動や考え方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳ある暮らしのために、安全の確保とリスクマネジメントの考え方を理解する。 ・利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守る仕組みについて理解する。 ・具体的な事故と予防対策について実践例を元に理解する。 ・生活の場での感染に関する正しい知識と必要性について知る。 ・感染症の特性、対処方法について理解する。

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
<p>介護に携わる人の健康管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の特徴から介護職自身の健康管理の必要性を知る。 ・介護職の健康や安全問題について事業者の取り組むべき事を理解する。 ・法規の面からの労働安全対策と安全衛生管理体制などを理解する。